

課題名：外来通院中の軽度低酸素血症 ILD 患者における 1 年間の身体特性の推移

◆研究の目的と概要◆

外来で通院中の軽度低酸素血症を有する間質性肺疾患（ILD）患者さんを対象に、初回評価時の身体特性（呼吸機能・脊柱起立筋・6MWT）と 1 年後の変化（脊柱起立筋）を、加齢性変化と比較し早期からの呼吸リハビリテーション介入の重要性を明らかにすること。

外来患者における呼吸リハビリテーションの適応基準を検討し、軽症段階からの介入が必要かどうかを参考にするための情報を提供する。

◆対象となる患者さん◆

間質性肺炎（ILD）の診断を受け 2023 年 4 月～2024 年 4 月に外来にて時間内歩行試験（6MWT）を実施し、SpO₂が 88%以上であった患者さん

◆研究に使用される情報・試料◆

基本情報

- 年齢
- 性別
- ボディマス指数（BMI）

2. 疾患重症度

- %FVC（予測肺活量の割合）
- %DLCO（予測一酸化炭素拡散能力の割合）

3. 使用薬剤

- 抗線維化薬（ニンテダニブ、ピルフェニドン）
- ステロイド
- オピオイド

4. 運動能力

- 6 分間歩行距離（6MWD）
- 6MWT 時の最低 SpO₂
- 呼吸困難感（胸部）
- 疲労感（下肢）

5. 筋肉量指標

- 筋肉量（SMI: Skeletal Muscle Index）
- 脊柱起立筋断面積

6. 酸素療法

- LTOT（長期在宅酸素療法）の使用状況

7. 栄養状態

- GNRI（栄養リスク指数）
- ヘモグロビン値

8. 疾患特異的マーカー

- KL-6
- LDH（乳酸脱水素酵素）

9. 呼吸状態

- mMRC（修正 Medical Research Council）スケール

10. リハビリ実施歴

- 過去の呼吸リハビリ実施歴（※除外基準に使用）
をカルテデータより抽出

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025 年 5 月 13 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 永田 幸生

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明